

他者との意見の交流を通して、端末を使うときに気を付けなければならないモラル等を養う

HYOGO スクールエバンジェリスト 豊岡市立府中小学校 成田 亘


<p>本時の目標</p> <p>・同じ言葉でも、人によって感じ方が違う言葉があることに気づく。 ・文字だけで伝えると、感情が伝わらないので、誤解されやすいことに気づく。</p>	校種・学年	小学校・5年
	教科・領域	道徳・A-(11)相互理解・寛容
	アプリ・ソフト	・Google クラスルーム ・ひょうご GIGA ワークブック
	備考	

○本時の展開

	○学習活動（◆指導上の留意点）
導入	○Google クラスルームから資料を配布する。 自分と相手とのちがいについて話し合おう
展開	○クラスで言われて「いやだな」と思う言葉を選ばせ、その理由を交流させる。 ◆クラスで意見を共有する中で、「まじめだね」など文字だけで伝えた場合の問題について考えさせる。 ○SNS で友だちからされて「いやだな」と感じる順にカードの番号を書かせる。 ○一番嫌だと感じるカードをえらんだ理由を共有する。 ◆友だちと自分の考えの違いに気づかせることで、感じ方の違いがトラブルにつながる可能性があることに気づかせる。
まとめ	○登場人物にどのようなトラブルが起こりそうか考え交流する。 ◆家庭でも教材を使って、どのようなことが考えられるか相談してみることを促す。


育成できる情報活用能力

◎PDF を iPad のファイルアプリで開くことで、書きこみと保存ができるようにさせる。今後、別の項目を指導する時に、保存したものを呼び出し使えるようにする。



育成できる情報活用能力

◎文字だけで伝わる SNS やインターネットの特徴を知ること、相手を意識した伝え方について考える事ができた。



児童の感想
<p>・それぞれちゃんとしたいやだと感じる理由があったから、この言葉は自分は平気でもいやな思いをさせてしまうわかりました。</p> <p>・悪口じゃなくても、文字だけだったらいやだと思わせてしまうことがあるんだなと思いました。</p>

<情報活用能力の育成とその効果>

- ・ SNS やインターネットなど、文字だけで伝える ICT の特徴を知ること、今後コミュニケーションを取る際にどのようなことに気を付けるか、考えさせることができる。
- ・ 端末で、書きこんだものを保存し、再度呼び出す機能を使う中で端末の基本操作を習得することができる。